

製品名: BRAF マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM82703

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	84.4kda

抗原情報

遺伝子名	BRAF
別名	NS7; B-raf; BRAF1; RAFB1; B-RAF1
遺伝子 ID	673.0
SwissProt ID	P15056
免疫原	HEK293-6e で発現したヒト BRAF (AA: 299-447) の精製された組み換え断片。

背景

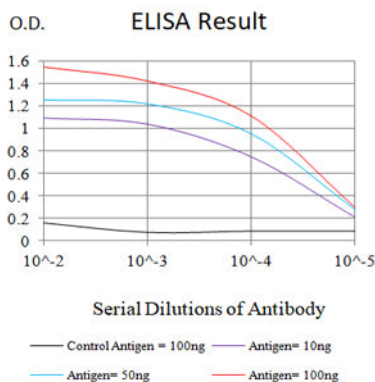
この遺伝子は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼの RAF ファミリーに属するタンパク質をコードしています。このタンパク質は、細胞分裂、分化、分泌に影響を与える MAP キナーゼ / ERK シグナル伝達経路の制御に関与しています。この遺伝子の変異、特に

V600E 変異は、メラノーマにおいて最も頻繁に同定される発癌性変異であり、非ホジキンリンパ腫、大腸がん、甲状腺がん、非小細胞肺癌、ヘアリー細胞白血病、肺腺がんなど、様々ながんにおいても同定されています。この遺伝子の変異は、重複した表現型を示す心筋皮膚症候群、ヌーナン症候群、コステロ症候群にも関連しています。この遺伝子の偽遺伝子が X 染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2017 年 8 月]

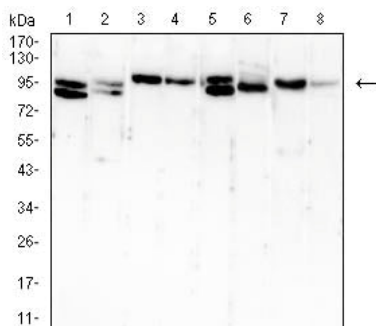
研究分野

MAPK シグナル伝達経路

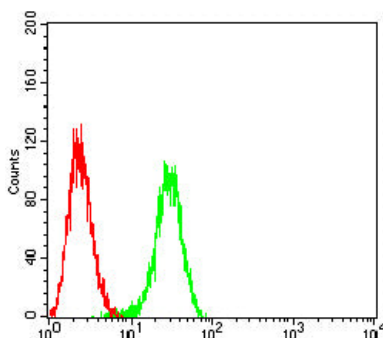
画像データ



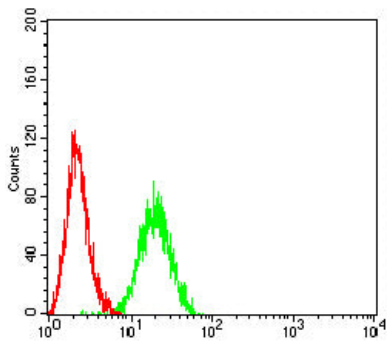
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



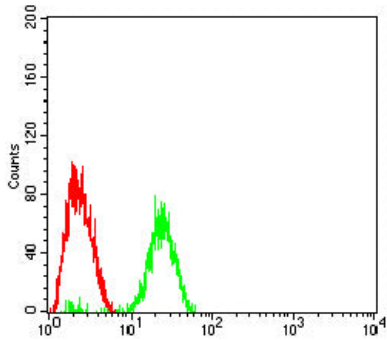
Hela (1)、HT-29 (2)、MOLT4 (3)、T47D (4)、HePG2 (5)、NIH/3T3 (6)、PC-12 (7)、および COS-7 (8) 細胞溶解物に対する BRAF マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



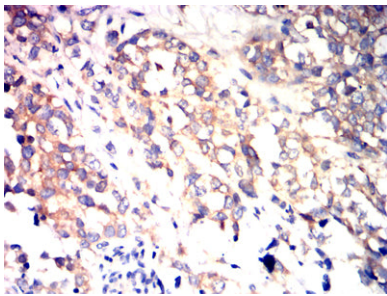
BRAF マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した BEL-7402 細胞のフローサイトメトリー分析。



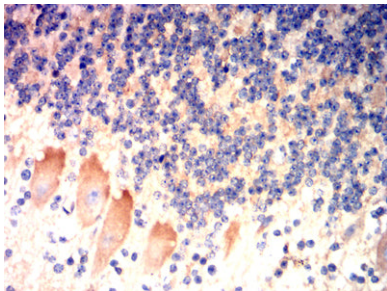
BRAF マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



BRAF マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色を伴う BRAF マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色を伴う BRAF マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト小脳組織の免疫組織化学分析。